異食・誤嚥・窒息

　　救急勉強会⑥　H30、１０月分

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ヒヤリ・事故 | 要因 | KYT |
| 異食 | ・お腹がすいている、味覚障害・不安やストレス・寂しさや欲求不満の代償行為・認識力の低下 | ＜急変対応＞・各製品に書いてある応急処置（吐かせる・水を飲ませて薄めるなど）をする。・電池、先端の尖ったもの、洗剤、タバコ、薬品などの場合は、ただちに緊急受診。・空腹の時間を作らない。・異食の原因となっている不安や不満を取り除く。笑顔で会話するだけでも良いので。・歯磨きや入れ歯の手入れを習慣化する。 |
| 誤嚥・窒息 | ・食事介助技術の未熟・不適切な食事姿勢、食事形態・嘔吐時の合併症 | ・嚥下障害やトロミ使用の患者を把握するための目印をつける。・口腔内乾燥が著しく乾燥していたり、喘鳴時や覚醒不良の際は無理しない。・下で唇をなめられるか。摂食動作、咀嚼、嚥下機能の観察。咀嚼を促すことで嚥下も促されることに配慮。・顎を引いた姿勢をとる。・健側を意識する。・食後１～２時間は坐位をとる。・吸引器の点検と整備。 |